

創ゼミ 2022 年受験生合格体験記 (原文まま)

○福島幸弥 (旭丘高校) 入塾:高 2 終わりごろ
進学先 東京大学 合格校 慶応義塾大学、早稲田大学

◇合格まで。

私が入塾したのは高次の三月です。当時の私は、東大に合格するには余りにも学力が足りなかったのですが、塾での徹底した反復練習により、英語を中心としてぐんぐんと実力が伸びていくのを実感しました。特に、共通テスト国語・英語は、創先生のご指導により、一気に解けるようになったのを覚えています。

努力も虚しく、一年目は不合格となってしまったのですが、そんな私にも創先生は優しく、懇切丁寧に答案添削をして下さるのみならず、精神面で大きなサポートをしていただきました。浪人中は常に大きなストレスと重圧がかかり、精神的に限界な時期もありましたが、最後まで諦めずに勉強に取り組めたのは、先生のサポートがあったからに他なりません。心から感謝しています。

◇共通テストについて。

上位大学の志望者は共通テストを軽視しがちですが、私は二度の受験を経て、共通テストの大切さを痛感しました。ここからは東大受験を例に挙げます。

「東大受験は二次勝負だ」と言われますが、それは共テである程度の点数が取れたか、ずば抜けて得意な科目があるか、そのどちらかの場合にのみ通用する言葉だと思います。私は今回の受験で、共テの重要性を心から実感しました。

例えば、足切り段階で受験者平均点が 750/900、自分の点が 700/900 だったとします。この場合、圧縮を考慮すると共テ得点の差は約 6 点です。しかし、ご承知の通り、二次試験において 6 点多く取るのは容易ではなく、問題運も絡みます。実際に、Twitter 等で不合格者の得点開示を見ると、「二次は満遍なく取れているが、共テの点が足りず不合格」という方が少なくありません。二次で 6 点余分に取るか、共テで 50 点多く取るか……どちらがより簡単かは人によりますが、二次の点で伸び悩んだら、共テの点を上げるのに注力するのも一つの手ではないでしょうか。

また、心理的な面でも、共テである程度得点しておくことは重要でしょう。共テで失敗してしまうと、二次までの一か月間、「自分は他の受験生に数点負けている」という気持ちを抱えたまま過ごすこととなります。ただでさえその期間は共テ後の燃え尽き、成績の伸び悩み、本番への焦り……といったように、ストレスが積み重なりやすい時期なので、余計な心労は減らすに限ります。

以上のことから、東大に限らず、共テ配点が低い大学を受験する皆さんは、共テを軽視することなく、しっかりと得点できるようにしておくことを勧めます。

◇その他のアドバイス。

僭越ながら二点、アドバイスを書こうと思います。

① 単語帳はとにかく早く終わらせる。

→結局、英語は語彙力が6~7割を占めると思います。単語帳を早めにやればやるほど、英語は効率よく伸びていきますし、英語学習も面白いほど楽になっていきます。まだ終わっていないければすぐ終わらせましょう。

② 理系向け(公民)共テの社会の勉強は早くにやりすぎない。

→早めに覚えてもどうせ1月には忘れてるので、12月に入るまでは何も対策しなくても良いと思います。その時間で数学や理科をやってください。12月に入ってから、各々の選択科目に合わせてある程度計画を立てて勉強すれば十分でしょう。参考までに、私は浪人時に倫政を0からやりましたが、12月下旬に1日4時間×7日(配分は倫理7:政経3)で終わらせ、当日は85点取れました。

◇最後に。

最後になりますが、私が東大に合格できたのは、創先生の下で学んだからに他なりません。先生は『合格するにはどうしたら良いか』を明確にしてご指導して下さるため、着実に合格まで進んでいくことができます。皆さんも創先生を信じて入試まで勉強して、是非合格を掴んでください。